

広報 むかいはら

平成23年度
No. 1

平成23年4月17日ふれあいプラザにて平成23年度定期総会が開催されました。61名の出席で行われ、事業計画・活動方針など審議しました。役員改選も行われ次のとおり新役員が決定しました。これから二年間、向井原振興会を盛り上げていきますので、活動へのご協力宜しくお願いいたします。

- 【会長】笠原 孝（坂2区本通下）
- 【副会長】有木健三（坂1区）
- 【副会長】山崎忠雄（2区駅通り）
- 【副会長】崎岡小夜子（2区本通上）
- 【総務部長】藤岡正義（2区本通下）
- 【ふれあい部長】菅原数之（坂1区）

～今年度の行事いろいろ～

- （6月）ふれあいスポーツ大会
- （7月）きれみん祭参加
- （9月）安全活動（清掃作業）・防災訓練
- （10月）人権教育・学習
向井原地区敬老会
- （11月・3月）丸山公園整備事業
- （毎月第2金曜日）あいさつ運動

【'東日本大震災被災者支援、丸山公園ふれあいチャリティーバザー開催】

平成23年4月10日（日）丸山公園及び老人憩いの家一帯で盛会に開催しました。きれいに整備された丸山公園を中心に行われ、おむすび・豚汁のバザーや振興会会員が持ち寄った品々でフリーマーケットを開設し、多くの参加者に喜んでいただけたと思います。参加された皆様からの募金と当日の売上げの一部を東日本大震災被災者支援に活用させていただきます。



【笠原会長の新任あいさつ】

3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震により、思いもよらぬ災害で人命を奪われた犠牲者の皆さまに心からの哀悼の意を表するとともに、被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。また、被災地の復興に向けて奮闘されている、行政機関やボランティアの方に敬意を表します。

本地域振興会においても、4月10日に行いましたチャリティーバザーでの収益金と同日集めました義援金を、安芸高田市を通じて被災地へ送ることとしています。引き続き本地域振興会として何ができるのか、考えてまいりたいと思っていますので、会員皆様のご理解とご協力をお願いします。

4月17日に開催されました総会において、新役員が全会一致で承認されました役員選出にご尽力いただきました、旧役員や行政区役員の皆様に感謝申し上げます。新役員を代表して就任に当たっての思いを申し上げご挨拶とします。

景気の回復が進まない状況で生活の厳しさは増えていますし、今回の東日本大震災により、国の予算も東日本に偏重せざるを得ず、県や市の財政状況もさらに逼迫することが予想される状況の中で、暮らしの安全や安心を確保するには、本地域振興会のような自主自治組織の役割は一層重要になってきています。とは言え、地域振興会活動は総論的には理解できてもボランティアで活動するには限界もあり、本地域も高齢化や住民減少により、年々役員選出に苦慮しているのが現実です。先日行われた総会においても、2年後の役員選出においては役員数を減らすことが議決されました。このことは、今までと同じ活動を続けていくことが困難になると思います。今まで本地域振興会の活動の基盤をつくって頂いた、歴代役員の方の意思を引き継ぎ、新しい活動のあり方を模索することが、新役員に求められているのだと思います。地域振興会の存在意義は、日常的な地域のコミュニケーションを図り有事の際に相互扶助的な活動を行い、会員の生命と財産を初期段階で守ることだと思えます。地域振興会には、自主防災組織もあり有事の際の役割分担もできています。短期間の初動的な対応が取れるようになっており自主活動としてはそれで十分だと思えます。課題は、日常的な地域のコミュニケーションをいかに維持していくことではないでしょうか。

この課題は、日本社会が抱える大きな社会問題でもありますが、この地域においても多くの会員が勤めや家庭事情などで地域のコミュニケーションが図りにくい状況ではないでしょうか。会員の皆様におかれましては、多忙な日々をお過ごしでしょうか、意識的に本地域振興会の活動に参加していただき、地域の絆を強めていただきたいと思います。この絆が防災防犯力を高め、安全安心な地域につながると思えます。私もこのことを意識しながら、より多くの会員が本地域振興会の活動に参加していただけるよう考えてまいります。

～総務部会活動～

平成23年5月7日（土）リサイクルセンターにおいて、回収状況の把握をするため総務部20名で活動しました。だいたい分別はされていましたが、缶類・紙類の分別がされていない物もあり、積み込み前の確認作業にも時間がかかりますので、今一度出し



【リサイクルセンターのリサイクル品の出し方のお願い】

リサイクル品回収へご協力賜り誠に感謝しております。昨年はおかげさまをもちまして回収料金により事業等に役立てることができました。大変、ありがたいことではありますが、リサイクル品の出し方において、いまだに徹底されていないことがありますので次のことに気をつけていただけたらと思います。

- ペットボトル・・・中を軽く水洗いしラベルをはがし、キャップを外す
⇒黄色のネットの場所へ
- 紙・・・段ボール・広告紙・新聞紙・本にそれぞれ区分してひもでくる
※ダイレクトメールなどビニール袋に包まれたものは出せない。
- 缶・・・スチール缶・アルミ缶に区別して出す（汚れたものは洗って出